再改訂版「放射線副読本」の撤回を*！*

内閣総理大臣　安倍晋三 様

文部科学大臣　柴山昌彦 様

復興大臣　 渡辺博道 様

　2018年10月、全国のすべての小・中学校、多くの高校に生徒数の再改訂版「放射線副読本」が文科省から送付されました。学校はどのように利用したか回答しなければなりません。

　初版も福島原発事故の直後に同じ要領で送付されました。事故に触れず、原発は安全、放射線は役に立つと強調していたために、全国から撤回運動が巻き起こり、事実上の撤回・改訂版の作成となりました。このような経験にもかかわらず、文科省は再び「放射線副読本」を事故被害者支援の打ち切り原発推進への世論操作に使おうとしており、これは学校教育への不当な介入です。

　今回の再改訂は、復興大臣主導の「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」の指示により行われました。それは、福島の復興が進まないのは放射線が危険との誤った知識によって「買わない、来ない」ためであるから、学校教育を使って「安全性」を子どもたちに教え込み、被害はないことを「知ってもらう」、福島産の品物を「買ってもらう」、修学旅行等にも福島に「来てもらう」というものです。

その結果、再改訂版には福島原発事故被害の実態に反し、放射線の危険について事実と科学に反し、被害者の人権の蹂躙につながる内容があります。文科省の言う「いじめをなくしていく」ためにも、学校では真実、科学、人権に基づく教育が行われるべきです。

**要求項目**

**1．2018年再改訂版「放射線副読本」を撤回すること。**

**2．修学旅行、校外学習の行先は子どもたちと学校の自主性にまかせること。**

**3．福島原発事故の被害者への補償と健康・生活支援を継続すること。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **名　 　前** | **住　 　所** | **カンパ** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**署名は目的以外には使用しません。**

取扱団体

**第1次締め切り2019年1月末**

**送先:地球アクション 稲岡美奈子580-0003松原市一津屋4-9-6 FAX.072-339-2871 Eメール minako-i@estate.ocn.ne.jp**

**呼びかけ団体：地球救出アクション97、ヒバク反対キャンペーン、原子力資料情報室**

**賛同団体(追加していきます)：**